

令和5年度 技術移転に係わる目利き人材育成プログラム 「バリュープロデュースコース」 タイムテーブル

(注) 講師およびカリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合があります。

研修会場 : 科学技術振興機構 東京本部別館 2F会議室A (東京都千代田区五番町7 K's五番町) HP : <https://www.jst.go.jp/koutsu.html>  
 定員 : 30名  
 開催期間 : 令和5年7月26日(水)・27日(木)  
 (講師名: 敬称略)

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:40	10:00	11:10	12:10	13:00	14:10	16:10	17:00									
<b>第1回 産学官連携の全体俯瞰と事業化へのロードマッピング</b> 【開講挨拶】 小長谷 幸 科学技術振興機構 人財部 科学技術イノベーション人材育成室 室長 【講師】 各務 茂夫 東京大学 大学院工学系研究科 教授 産学協創推進本部 副本部長 日本ベンチャー学会 会長 廣瀬 雄大 ブロードフォード株式会社 代表取締役 ※グループ討議担当講師 増田 聖由美 大阪公立大学 知的財産マネジメントオフィス URA 福井 達雄 ダイバーテクノロジー株式会社 取締役 CFO 久納 弘幸 株式会社AIST Solutions (産総研グループ) コーディネート事業本部 連携企画部 亀上 知世 電気通信大学 情報理工学研究所 産学官連携研究員 リバスティ 代表 出田 光太郎 佐賀大学 リージョナル・イノベーションセンター シニアURA	7/26(水)	JST 東京本部 別館2F 会議室A		受付	趣旨説明・注意事項	【講義①】 産学官連携活動の全体俯瞰 東京大学 各務 茂夫	休憩	【講義②】 研究者ヒアリング 研修で取り扱う技術シーズ提供者	屋食休憩	【講義③】 事業プランニングのためのロードマッピング ブロードフォード株式会社 廣瀬 雄大	休憩	【グループ討議・発表】 具体的技術シーズを用いた事業化ロードマップ展開への課題抽出 廣瀬 雄大 (増田・福井・久納・亀上・出田)		グループ討議	グループ発表	振り返りシート記入・解散				
					産学官連携の実務者が学ぶべき視点を把握する。また、グローバル化が進む中で、世界を取り巻く情勢を踏まえ、それぞれの地球でイノベーション創出に向けた活動展開が期待される目利き人材の要件について学び、産学官連携を全体俯瞰する。	本コースで具体的に検討を進める技術シーズをご提供いただいた研究者へのヒアリングを行う。ヒアリング内容をグループ討議に活かし、社会実装へのシナリオ構築へと進める。	将来ビジョンと現在を繋ぐための道筋を設計するロードマッピングを学ぶ。戦略やシナリオを検討する際のロードマッピングの有効性や軸立立案のためのポイントを押さえる。	研究成果の事業化に向け、具体的な技術シーズを題材としてグループ討議を行う。事業化へ向けてロードマッピングを行い、市場への展開や共同研究などに至るまでのプロセス、課題などを抽出する。また、研究者や技術シーズの印象、事前課題や討議過程で気づいた不明点、実務上の課題などを共有し、課題解決への糸口を探る。	グループ発表	グループ討議で取りまとめた結果をグループごとに発表する。各グループが行ったロードマッピングから、幅広いアイデアや各フェーズへ進めるためのポイント等について、共有する。										

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:30	10:00	11:10	12:00	13:00	15:20	15:30	16:30									
<b>第2回 研究成果の選別・評価</b> 【講師】 尾谷 敏造 神奈川大学 研究推進部 産学官連携課 産学官連携コーディネーター ※グループ討議担当講師 増田 聖由美 大阪公立大学 知的財産マネジメントオフィス URA 福井 達雄 ダイバーテクノロジー株式会社 取締役 CFO 久納 弘幸 株式会社AIST Solutions (産総研グループ) コーディネート事業本部 連携企画部 亀上 知世 電気通信大学 情報理工学研究所 産学官連携研究員 リバスティ 代表 出田 光太郎 佐賀大学 リージョナル・イノベーションセンター シニアURA	7/27(木)	JST 東京本部 別館2F 会議室A		受付	【講義①】 研究成果の選別・評価 神奈川大学 尾谷 敏造	休憩	【グループ討議】 研究成果の選別・評価 (増田・福井・久納・亀上・出田)	屋食休憩	【グループ討議・発表】 研究成果の選別・評価 (増田・福井・久納・亀上・出田)		グループ討議	グループ発表	振り返りシート記入・解散							
					研究成果から事業化展開を進めるためには、研究成果の技術面や研究者の人物面を把握し、事業化へ向かうための研究成果の選別・評価を行うことが重要である。「トリアージ法」を用いて、抜け漏れなく同一視点で研究成果を横並びに評価し、選別する工程について、検討のポイントを具体的に学ぶ。	事前課題や講義を踏まえ、技術シーズの事業化の可能性について評価・検討を行う。	午前引き続き、技術シーズの事業化の可能性について評価・検討を行う。また、第1回のグループ討議で実施したロードマッピングと照らし合わせながら、事業化に向けて、今後どのように研究成果を進展させるべきか活動方針を決める。	グループ発表	グループ発表	グループ発表で取りまとめた結果をグループごとに発表する。各グループが検討したトリアージ表から、幅広いアイデアや各フェーズへ進めるポイント等について、受講生および講師間で共有する。										

令和5年度 技術移転に係る目利き人材育成プログラム 「バリュープロデュースコース」 タイムテーブル

(注) 講師およびカリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合があります。

研修会場 : 科学技術振興機構 東京本部別館 2F会議室A (東京都千代田区五番町7 K's五番町) HP : <https://www.jst.go.jp/koutsu.html>  
 定員 : 30名  
 開催期間 : 令和5年10月11日(水)・12日(木)  
 (講師名:敬称略)

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:45	10:00	11:00	11:10	12:10	13:00	15:50		16:00		17:00						
<b>第3回 知財戦略の検討</b> 【講師】 久保 浩三 工業所有権情報・研修館 理事長 増田 亜由美 大阪公立大学 知的財産マネジメントオフィス URA ※グループ討議担当講師 増田 亜由美 大阪公立大学 知的財産マネジメントオフィス URA 福井 達雄 ダイバーテクノロジー株式会社 取締役 CFO 久納 弘幸 株式会社AIST Solutions (産総研グループ) コーディネート事業本部 連携企画部 亀上 知世子 電気通信大学 情報理工学研究所 産学官連携研究員 リハスティ 代表 出田 光太郎 佐賀大学 リージョナル・イノベーションセンター シニアURA	10/11 (水)	JST 東京本部 別館2F 会議室A	受	付	【講義①】 大学等における 知財の意義と戦略 工業所有権情報・研修館 久保 浩三	【講義②】 成果導出に向けた 特許調査等のポイント 大阪公立大学 増田 亜由美	休憩 研究成果の成果導出に向けた 知財戦略や出口戦略を検討す る上で重要となる特許調査や パテントマップの作成を学 ぶ。さらに、知財分析に関し てコーディネータやURAに求 められる知識とスキルについ て理解を深める。	屋食休憩	【グループ討議・発表】 知財戦略に向けたアプローチ (増田・福井・久納・亀上・出田)		グループ討議 実際の技術シーズを用いて、特許調査やパテントマップ作成による整理・分析を行う。 知財の観点から今後の技術開発や事業化にあたっての課題を整理し、今後の方策をグ ループで検討してまとめる。		休憩		グループ発表 グループ討議でまとめた結果 をグループごとに発表する。 知財戦略を検討する上でのポ イント等について、講師およ び受講者間で共有する。		振 返 り の シ ー ト 記 入 ・ 解 散			

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:30	11:00	11:10	12:10	13:10	15:20	15:30	16:00	16:30								
<b>第4回 研究成果の付加価値の創出</b> 【講師】 鈴木 剛一郎 株式会社イノベーションマネジメントコンサルティング 代表 経営コンサルタント ※グループ討議担当講師 増田 亜由美 大阪公立大学 知的財産マネジメントオフィス URA 福井 達雄 ダイバーテクノロジー株式会社 取締役 CFO 久納 弘幸 株式会社AIST Solutions (産総研グループ) コーディネート事業本部 連携企画部 亀上 知世子 電気通信大学 情報理工学研究所 産学官連携研究員 リハスティ 代表 出田 光太郎 佐賀大学 リージョナル・イノベーションセンター シニアURA	10/12 (木)	JST 東京本部 別館2F 会議室A	受	付	【講義①】 実践的技術マーケティング手法 S-N変換法の活用 株式会社イノベーションマネジメント コンサルティング 鈴木 剛一郎	【グループ討議】 S-N変換法を用いた 評価と研究成果の 価値創出 鈴木 剛一郎 (増田・福井・久納・ 亀上・出田)	休憩 第3回まで検討してきた具体 的な技術シーズについて、S- N変換法を用いて、要素技 術、機能・効能(できるこ と)・用途・市場ニーズなど の関係について整理する。	屋食休憩	【グループ討議・発表】 S-N変換法を用いた 評価と研究成果の価値創出 鈴木 剛一郎 (増田・福井・久納・亀上・出田)		グループ討議 午前につき、S-N変換法を用いて研究成果の価値創出について議論 を深める。さらに、新たな価値の創出に向けた方向性について検討 を行い、その結果を技術紹介シートにとりまとめる。		休憩		グループ発表 S-N変換法を用いてグループ 討議で実践し、まとめた結果 をグループごとに発表する。 用途や市場ニーズなどを抽出 し、各グループがどのような 市場を目指して事業化するの かを共有し、第5回以降のグ ループ討議に繋げる。		振 返 り の シ ー ト 記 入 ・ 解 散			

令和5年度 技術移転に係わる目利き人材育成プログラム 「バリュープロデュースコース」 タイムテーブル

(注) 講師およびカリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合があります。

研修会場 : 科学技術振興機構 東京本部別館 2F会議室A (東京都千代田区五番町7 K's五番町) HP : <https://www.jst.go.jp/koutsu.html>

定員 : 30名

開催期間 : 令和5年12月13日(水)・14日(木)

(講師名:敬称略)

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:45	10:00	11:00	11:10	12:40	13:40	16:00	17:00									
<b>第5回 事業化シナリオの策定①</b> 【講師】 稲熊 律夫 RE-DesignLab 代表 慶應義塾大学 グローバルリサーチインスティテュート 特任教授 大和 建太 KAICO株式会社 代表取締役 ※グループ討議担当講師 増田 亜由美 大阪公立大学 知的財産マネジメントオフィス URA 福井 達雄 ダイバーテクノロジー株式会社 取締役 CFO 久納 弘幸 株式会社AIST Solutions (産総研グループ) コーディネート事業本部 連携企画部 亀上 知世子 電気通信大学 情報理工学研究所 産学官連携研究員 リハスティ 代表 出田 光太郎 佐賀大学 リージョナル・イノベーションセンター シニアURA	12/13 (水)	JST 東京本部 別館2F 会議室A	受	付	【講義①】 事業化シナリオの策定 RE-DesignLab 稲熊 律夫	【講義②】 事業化シナリオの実践事例① ～コーディネートのポイント～ KAICO株式会社 大和 建太	研究成果を活用・応用した製品・サービスへの事業化シナリオに必要な項目(解決を図りたいペイン・課題や想定する顧客等)のポイントについて学ぶ。	九州大学の研究成果や技術を元に起業した大学院生ベンチャーのKAICO株式会社。難発現性タンパク質を大量生産できる生産プラットフォームを商業的に構築し、低コスト生産の実現や再生医療用研究試薬やワクチン、診断薬など潜在需要に応えることが期待されている。KAICO株式会社の事業計画や資金調達の様子から、シナリオ作成や課題解決のポイントを学ぶ。	屋食休憩	【グループ討議・発表】 事業化シナリオの策定 実践① 稲熊 律夫 (増田・福井・久納・亀上・出田)	グループ討議 第1回グループ討議から検討を進めてきた技術シーズを用いて事業化へのシナリオを検討する。本技術を活用・応用した製品・サービスが提供する価値、想定する顧客とその数、競合する製品・サービス、ビジネススキームなどを整理する。	グループ発表 グループ討議でまとめた事業化シナリオについて、結果をグループごとに発表する。シナリオを作成する検討の過程を共有し、事業化へ向かうためのポイントを整理する。	振 返 り シ ー ト 記 入 ・ 解 散							

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:30	11:00	11:10	12:10	13:10	15:20	15:30	16:30									
<b>第6回 事業化シナリオの策定②</b> 【講師】 小林 宏 東京理科大学 工学部機械工学科 教授 株式会社イノフィス 創業者 ※グループ討議総括 稲熊 律夫 RE-DesignLab 代表 慶應義塾大学 グローバルリサーチインスティテュート 特任教授 ※グループ討議担当講師 増田 亜由美 大阪公立大学 知的財産マネジメントオフィス URA 福井 達雄 ダイバーテクノロジー株式会社 取締役 CFO 久納 弘幸 株式会社AIST Solutions (産総研グループ) コーディネート事業本部 連携企画部 亀上 知世子 電気通信大学 情報理工学研究所 産学官連携研究員 リハスティ 代表 出田 光太郎 佐賀大学 リージョナル・イノベーションセンター シニアURA	12/14 (木)	JST 東京本部 別館2F 会議室A	受	付	【講義】 事業化シナリオの実践事例② ～研究者から見たVB創出のポイント～ 東京理科大学 小林 宏	【グループ討議】 事業化シナリオの策定 実践② 稲熊 律夫 (増田・福井・久納・亀上・出田)	5回回の検討を踏まえ、事業化に向けての課題やリスク等の整理と、今後取り組むべき技術開発や知財戦略等を考える。	屋食休憩	【グループ討議・発表】 事業化シナリオの策定 実践② 稲熊 律夫 (増田・福井・久納・亀上・出田)	グループ討議 午前につき、事業化シナリオ策定に向けて議論を深める。第1回から様々な分析ツールを用いて検討してきた結果を、研究者や関係者に提案する形の事業化シナリオとして取りまとめる。	グループ発表 完成したシナリオについて、技術シーズの提供者である研究者にプレゼンするつもりでグループごとに発表する。	振 返 り シ ー ト 記 入 ・ 解 散								